

2021 年度（令和 3 年度）

## 横手市\_温泉に関するアンケート調査

横手市では平成 28 年 3 月、公共温泉施設の在るべき姿を明確にしつつ、具体的かつ抜本的な対策を提示することを目的に「公共温泉施設の在り方・再編方針」を策定し、温泉施設の民営化を進めてまいりました。

現在、市においては、市のこれまでの取り組みやその結果等を念頭に置きながら、改めて、公共温泉施設の位置付けや方向性等について協議、検討を重ねております。

このアンケートは、市民の皆様より温泉に関するご意見を頂戴し、公共温泉施設の方向性等の検討の参考とするために実施するものです。

市民の皆様には、大変ご面倒をおかけいたしますが、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和 4 年 2 月

横手市長 高橋 大

～別紙「回答票」は、令和 4 年 3 月 11 日（金）までポストに投函してください～

### アンケートのご記入にあたって

- ・この調査票は、横手市にお住まいの 18 歳以上の方から無作為に抽出した 6,000 人の方にお送りしています。
- ・封筒のあて名にあるご本人がお答えください（代筆も可）。
- ・このアンケートは無記名で、回答は統計的な数値として処理いたします。

### アンケートに関するお問い合わせ

**横手市商工観光部 商工労働課**

電話番号：0182-32-2115

受付日時：月～金 8:30～17:15  
（土・日・祝日を除く）

★… 本調査は、横手市が「株式会社アチカ」に委託し実施しております …★

## 1) 温泉施設民営化の取り組みと結果

横手市では平成28年3月、公共温泉施設の在るべき姿を明確にしつつ、具体的かつ抜本的な対策を提示することを目的に「公共温泉施設の在り方・再編方針」を策定いたしました。

※

※

その後、横手市が所有する全ての公共温泉施設（9施設）の民営化に向けた取り組みに着手し、平成30年4月1日には、6つの施設（さわらび、ゆーらく、大森健康温泉、雄川荘、えがおの丘、鶴ヶ池荘）を民間の事業者の皆様へ譲渡いたしました。

※

※

温泉経営をお引き受けいただいた民間事業者の皆様におかれましては、譲り受け直後より新たなサービスの展開や支出の見直し等に鋭意、取り組んでいただき、市営時代に比し著しく収益を改善させておりましたが、令和2年に入りましてからは、経営環境の急激な変化等により、今後の運営継続を断念せざるを得なくなった施設もあり、令和4年1月現在、市が譲渡した6施設のうち3つの施設が市に返還されております。

### 【I 時系列概要】

時 期	事 項
平成28年3月	・「公共温泉施設の在り方・再編方針」策定
平成29年3月～	・全9施設の公募要項公開⇒民間譲渡手続き開始
平成30年4月1日	・6施設を民間事業者の皆様へ譲渡
令和2年4月1日	・さわらび休業
4月21日	・ゆーらく休業
5月1日	・鶴ヶ池荘休業（⇒6月1日営業再開）
7月1日	・さわらび、ゆーらくの市への返還 ※市による施設の維持管理開始
令和3年1月4日	・鶴ヶ池荘休業
4月1日	・鶴ヶ池荘の市への返還 ※市による施設の維持管理開始

## 【Ⅱ 民営化の取り組み結果】

カテゴリ	施設名	地域	築年数	民間譲渡の状況
返還施設	さわらび	増田	22	譲渡⇒返還（R2.7.1 付） ※休館中
	ゆーらく		29	
	鶴ヶ池荘	山内	24	譲渡⇒返還（R3.4.1 付） ※休館中
民営化施設	雄川荘	雄物川	16	譲渡
	えがおの丘		26	
	大森健康温泉	大森	27	
市営施設	ゆっふる	平鹿	26	譲渡できず
	さくら荘	大森	39	
	ゆとりおん大雄	大雄	29	

※「築年数」=R4.1.1 現在の数値となります

👉… 詳しくは、市のホームページをご覧ください …👉

横手市のホームページにて、「公共温泉施設の在り方・再編方針」やこれまでの取り組みに関する検証結果を閲覧できます。

ご興味のある方は、ぜひ、市のホームページをご覧ください。

### ※市ホームページの検索の方法

- ・ 検索サイトで“横手市”と打ち込み検索⇒市のホームページを開く
- ・ トップページ「サイト内検索」欄に“温泉”と打ち込み検索
- ・ 検索結果のうち、「公共温泉施設の在り方・再編方針」をクリック

◆…QRコードからもアクセス可能です



## 2)「公共温泉施設の在り方・再編方針」に基づく取り組み

市では、温泉施設を取り巻く状況や当市公共温泉施設の現状と課題、市の具体的な取り組み内容などを記載した再編方針に基づき、平成28年3月以降、公共温泉施設の民間事業者の皆様への譲渡を進めてまいりました。再編方針の詳細につきましては、市のホームページをご覧ください（閲覧方法は、前ページをご参照ください）。

### 【Ⅰ 横手市が考える“公共温泉施設の在るべき姿”】

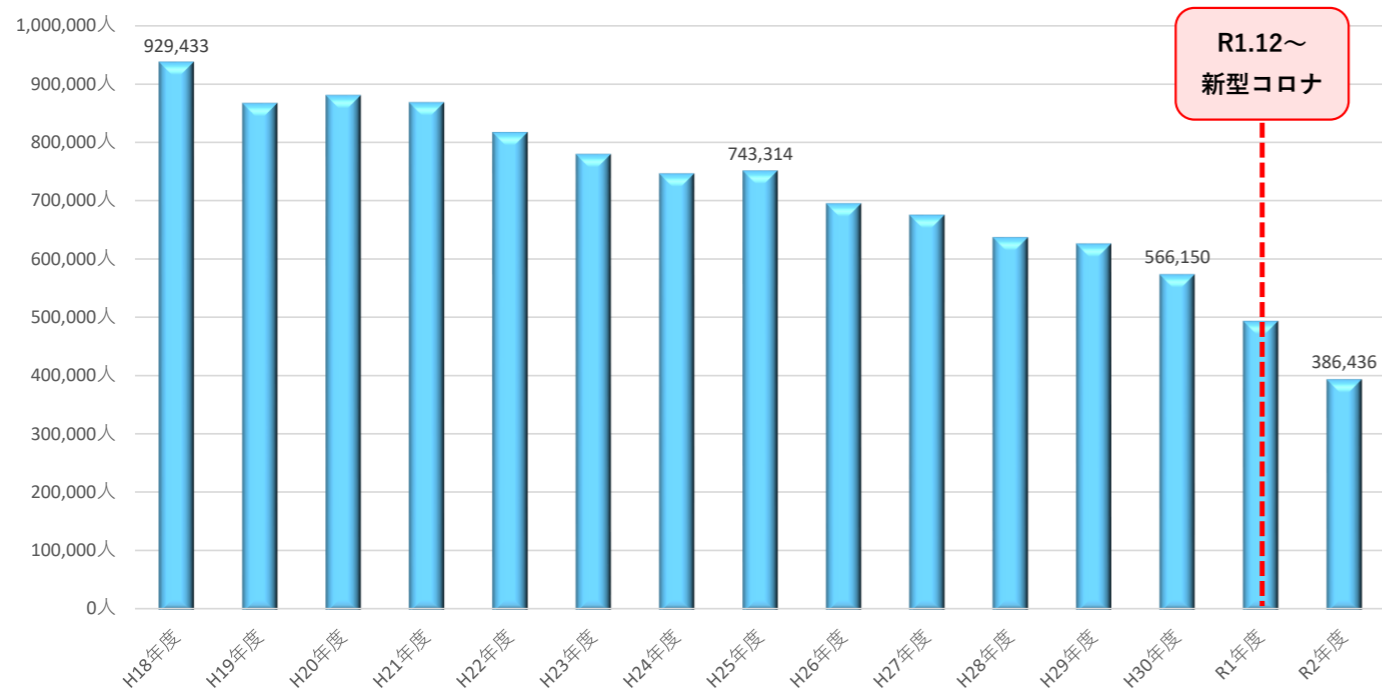
- 行政による温泉施設運営は、その役割を終えつつあることを認識し、公共から民間へのシフトを積極的に促進すべき
- 政策上、必要と判断される施設でも、その位置付けを新たにし、身の丈にあった施設数への関与に留めることを基本とすべき

### 【Ⅱ 市が取り組む具体的な内容】

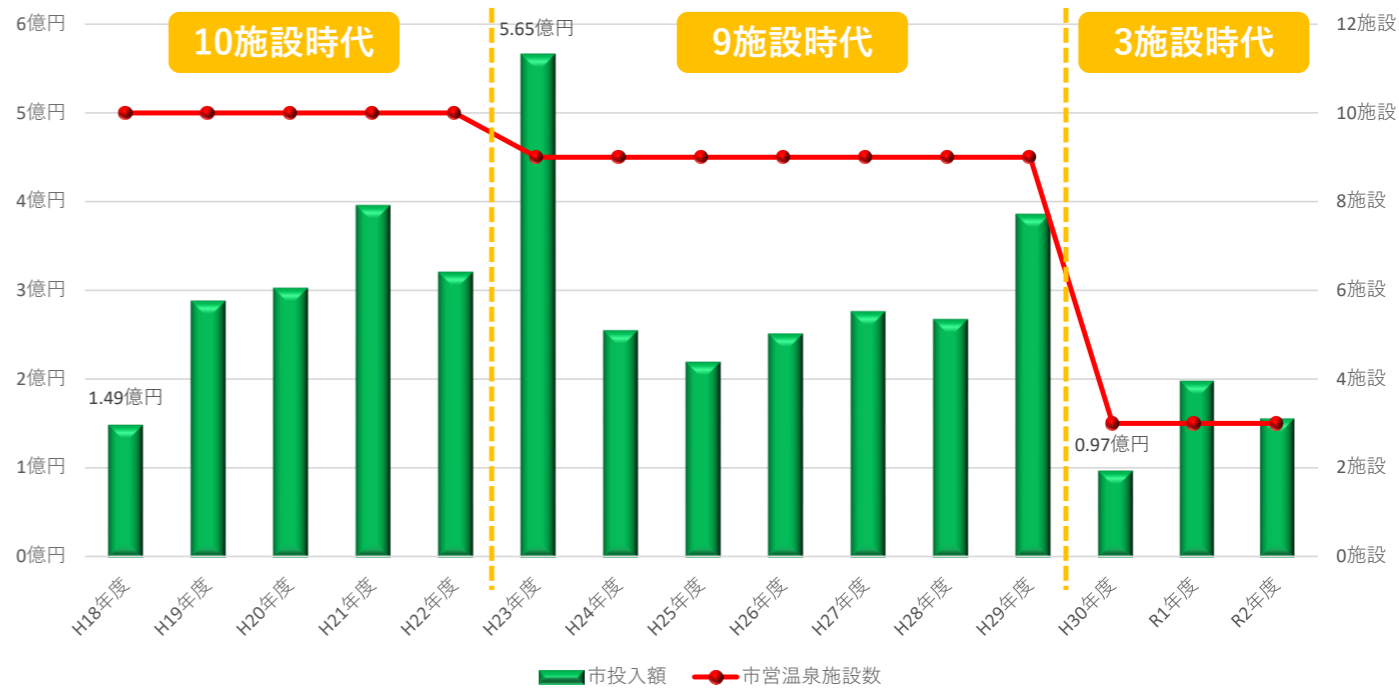
基本的な方針	<p>【優先順位①】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・温泉施設の運営は、民間シフトに向けて取り組む</li></ul> <p>【優先順位②】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・民間への譲渡ができなかった場合は、施設配置面で近接する施設は廃止し、市が保有する施設数を圧縮する</li></ul> <p>【優先順位③】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・施設の配置バランスと明確な目標数値基準に基づき、施設の存廃を決定する</li></ul>
具体的な取り組み内容	<ol style="list-style-type: none"><li>① 施設ごとの民間譲渡の可能性を調査し、その結果に基づいて譲渡を目指す</li><li>② 譲渡が不可能だった場合は、旧市町村単位で同一地域に2つある施設のうち一方（＝日帰り施設）を廃止する</li><li>③ 施設ごとの赤字圧縮額（目標値）を設定し、その実績と施設の配置バランスなどを総合的に勘案しながら、温泉施設の存廃を決定する</li></ol>

～ 温泉に関するデータにつきましては、別紙（A3判）をご覧ください ～

☆… 横手市内全温泉施設\_入浴者数の推移 (人) …☆



☆… 市営温泉施設に市が投入した金額と施設数の推移 …☆



🏠…グラフの見方

- ・青いグラフは、横手市内にある全温泉施設の入浴者数の合計となります。
- ・全ての施設となりますので、民間事業者の皆様が運営する温泉施設を含みます。
- ・平成18年度は、年間約92万人の皆様がご利用されておりましたが、その後は、少しずつ入浴者が減り、12年後の平成30年度は約56万人、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大した令和2年度は、約38万人となりました。
- ・減少した人数は約54万人、割合で計算しますと約58%減となります。

🏠…グラフの見方

- ・緑のグラフは、市営温泉施設に横手市が投入した金額となります。
- ・市営温泉施設は全ての施設が赤字経営となっており、その赤字額を補てんしなければ、運営が継続できないこととなります。
- ・赤の折れ線グラフは、市が運営している温泉施設数の推移となります。
- ・平成22年10月までは10か所、平成23年度から平成29年度までは9か所、平成30年度以降は、3か所の施設を運営しております。

合併以降、市営温泉施設に横手市が投入した総額	1年度当たりの平均額
約42億円	約2億5千万円

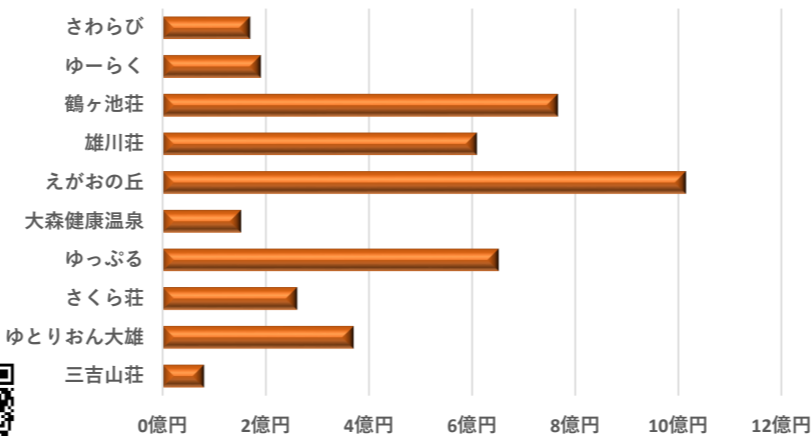
※上記の金額には、施設や設備の修繕費、施設の取得費、第三セクター関連の費用等を含みます

参考

★…年度ごとの投入額の推移など詳しい数値は、市のホームページでご覧いただけます。ホームページは、QRコードからもアクセス可能です。



☆… 合併以降、市営温泉施設に市が投入した総額と施設ごとの内訳 …☆



返還施設 (休館中)		
さわらび	ゆーらく	鶴ヶ池荘
1億7千万円	1億9千万円	7億6千万円

市営施設		
ゆっふる	さくら荘	ゆとりおん大雄
6億5千万円	2億6千万円	3億6千万円

民営化施設		
雄川荘	えがおの丘	大森健康温泉
6億円	10億1千万円	1億5千万円

廃止施設
三吉山荘
8千万円